

# トットちゃん広場10周年記念展 「みんな、いっしょだよ。」

<同時開催>

ようこそ！ザ・キャビンカンパニー 新収蔵作品展

—がっこうにまにあわない・ゆうやけにとけていく—

ちひろ美術館コレクション 「星の下の物語」

2026年6月12日(金)～9月6日(日)

安曇野ちひろ美術館 展示室1・2

主催：ちひろ美術館

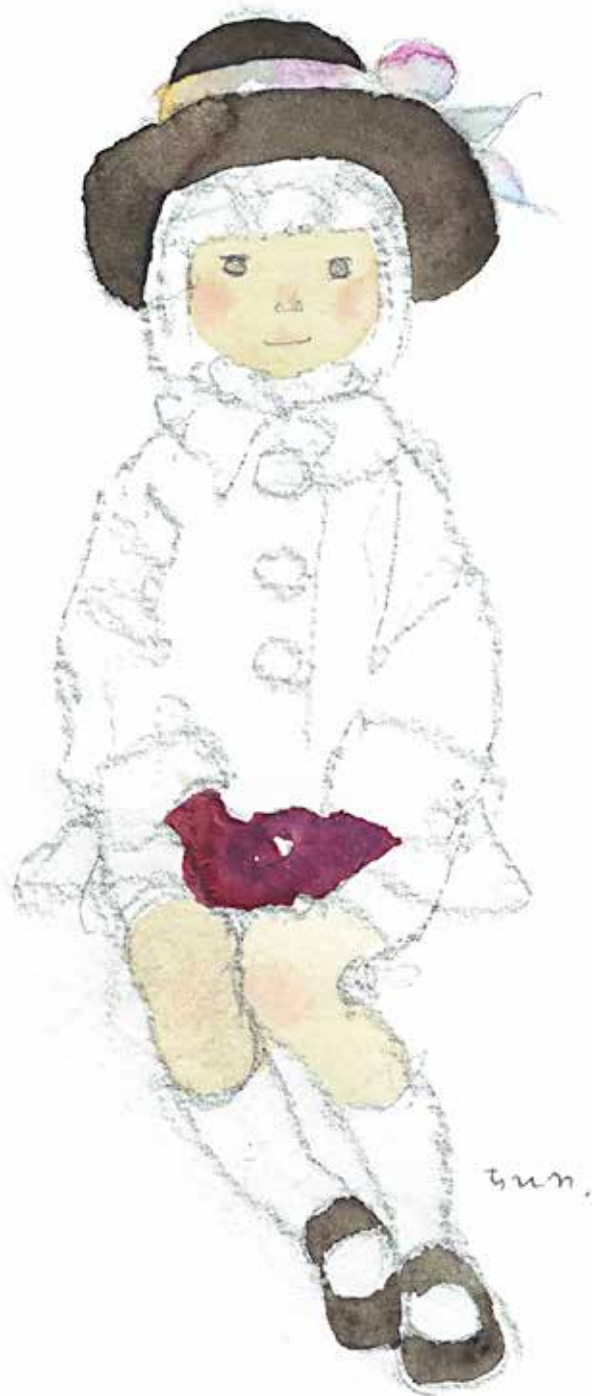
後援：信濃毎日新聞、市民タイムス、abn長野朝日放送、長野エフエム放送、松川村

協力：講談社、童心社、安曇野ちひろ公園

## みんなで楽しむ、 『窓ぎわのトットちゃん』の世界

『窓ぎわのトットちゃん』（講談社）は、ちひろ美術館の館長である黒柳徹子の自伝的物語です。小学校を退学になったトットちゃん（黒柳徹子）が新たに通ったトモエ学園は、戦時下であっても、校長の小林宗作先生のもと、ひとりひとりの個性と可能性を大切にする教育が行われていました。この物語は20以上の言語に翻訳され、刊行45周年を迎える今なお、世代も国境も超えたロングセラーとして愛されています。いわさきちひろの絵で知られるこの物語は、ちひろの没後に書かれましたが、遺された絵のなかから、黒柳自らがトットちゃんや友だちの姿に重なる作品を選びました。

そして、安曇野ちひろ美術館に隣接する安曇野ちひろ公園（松川村営）に2016年、物語の世界を再現した、トットちゃん広場がオープンしました。本展では、開園10周年を記念して、黒柳がつづるトモエ学園での日々と、ちひろの絵が織りなすトットちゃんの世界の魅力を紹介するとともに、小林宗作先生が子どもたちに伝えた、「みんな、いっしょだよ。」の精神を見つめ直します。



1 いわさきちひろ こげ茶色の帽子の少女 1970年代前半

展覧会の見どころ



2 いわさきちひろ 「このあし たん」 1969年

『窓ぎわのトットちゃん』の世界を楽しむ

トットちゃんが通っていたトモ工学園での楽しい日々を、物語のことばと、いわさきちひろの絵で紹介いたします。また、10周年をむかえる安曇野ちひろ公園（松川村営）・トットちゃん広場の、これまでの歩みを写真で紹介いたします。



3 いわさきちひろ 「にじの はし」 1963年



4 いわさきちひろ  
朝顔と3人の子どもたち  
1970年頃

「みんな、いっしょだよ。」  
トモ工学園のあいことば

トモ工学園の小林宗作校長は、「みんな、いっしょだよ。いっしょにやるんだよ。」をあいことばに、生徒ひとりひとりの個性と可能性を尊重しました。いつの時代も変わらず大切な、トモ工学園の「みんな、いっしょだよ。」の精神を、小林宗作が実践した教育と、子どものしあわせを願い続けた画家いわさきちひろの作品を通して見つめ直します。

いまにつながる戦争の記憶

黒柳徹子がいまの戦地の子どもたちを思い、42年ぶりに、自身の子どもの時代の戦争体験をつづった『続 窓ぎわのトットちゃん』（講談社）。また、広島で原爆を体験した子どもたちのことばに、ちひろが絵を描いた絵本『わたしがちいさかったときに』（童心社）をもとに、被爆80年の昨年刊行された、『1945年8月6日 あさ8時15分、わたしは』（童心社）。戦争の記憶をいまにつなぐ2冊を、ちひろの絵とともに紹介します。



5  
いわさきちひろ  
1輪の花を見つける少女  
1968年



6  
いわさきちひろ  
見つける少女  
『わたしがちいさかったときに』  
(童心社)より  
1967年

安曇野ちひろ公園（松川村営）トットちゃん広場

トットちゃん広場に設置されている2両の電車「モハとデハニ」は、トモ工学園の1940年頃の電車の教室と図書室を再現しています。また「トモ工の講堂」では、縮小して再現された講堂のなかで、トモ工学園の教育方針や当時の子どもたちのようすを写真で紹介しています。会期中の7月25日（土）には、10周年を記念した特別な「トットちゃんの夏祭り」を、安曇野ちひろ公園にて開催予定です。



7 電車の教室・図書室



8 トモ工の講堂

出展作品数 約60点

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。  
※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。  
※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。※掲載紙/誌をご送付ください。

# ようこそ！ザ・キャビンカンパニー 新収蔵作品展 —がっこうにまにあわない・ゆうやけにとけていく—

2026年6月12日(金)～9月6日(日)

安曇野ちひろ美術館 展示室4

主催：ちひろ美術館

後援：絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会

協力：あかね書房、小学館

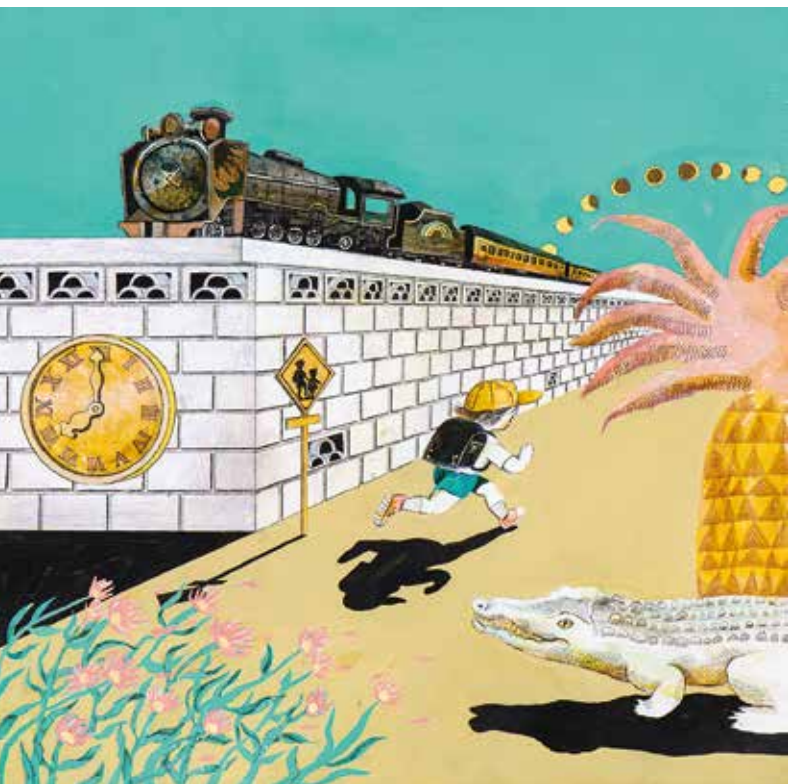
<同時開催>

トットちゃん広場10周年記念展

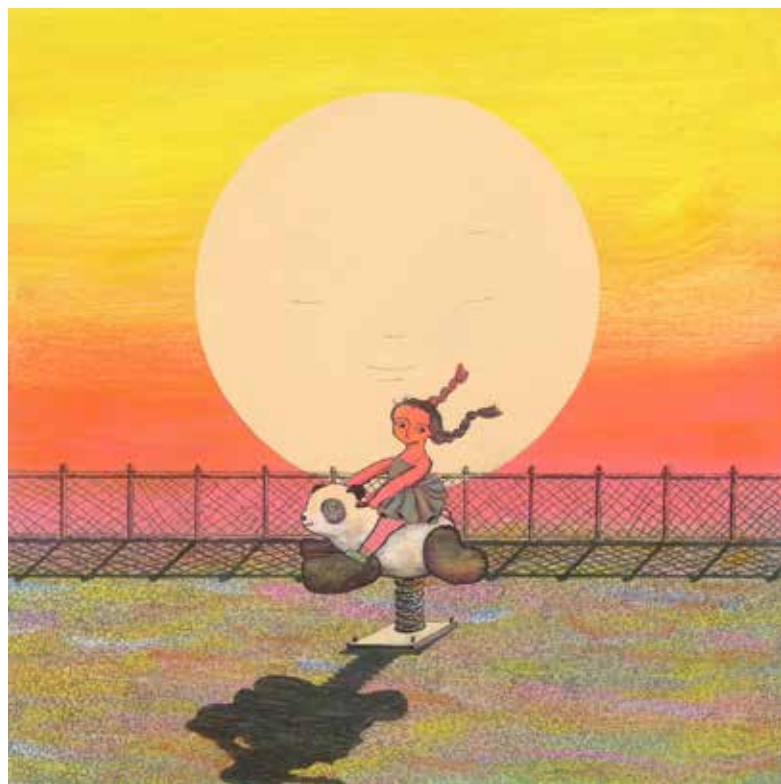
「みんな、いっしょだよ。」

ちひろ美術館コレクション

「星の下の物語」



9 ザ・キャビンカンパニー 『がっこうにまにあわない』(あかね書房) 表紙 2022年



10 ザ・キャビンカンパニー 『ゆうやけにとけていく』(小学館) 表紙 2023年

## ザ・キャビンカンパニーが安曇野ちひろ美術館にやってきます！

大分出身の阿部健太郎(1989-)と吉岡紗希(1988-)のふたりによるユニット「ザ・キャビンカンパニー」。彼らが描き出す世界は、豊かなイマジネーションと画面に満ちあふれるエネルギーで私たちに魅了します。本展では新収蔵作品である絵本『がっこうにまにあわない』(あかね書房 2022年)と『ゆうやけにとけていく』(小学館 2023年)の全原画38点を展示します。『がっこうにまにあわない』で展開される、わずか13分を走り抜ける爽快感と、『ゆうやけにとけていく』に流れる穏やかな時間。2冊の絵本の異なる魅力をどうぞお楽しみください。また、絵本制作の舞台裏も紹介し、彼らの絵本づくりにかける真摯な姿勢にも迫ります。

遠く大分からやってくる作品たちに、歓迎の意を込めて。ようこそ！ザ・キャビンカンパニー。

## 展覧会の見どころ

### 朝を駆け抜ける絵本 『がっこうにまにあわない』

『がっこうにまにあわない』は、遅刻してしまいそうな男の子が、いつもの通学路でふりかかるトラブルに負けず、学校を目指す姿を描いた絵本です。今日は絶対に間にあわないといけない、そのわけは……？ 13分間の疾走感、爽快感をお楽しみください。



12



11



13

11・12・13 ザ・キャビンカンパニー『がっこうにまにあわない』（あかね書房）より 2022年

### 暮れる夕日に人生を重ねる絵本『ゆうやけにとけていく』

『ゆうやけにとけていく』は、人の一生にやさしく「寄り添える絵本」を描きたいという思いから、夕焼けをテーマにした絵本として制作されました。だんだんと太陽が暮れていく時間の、さまざまな人たちの日常の姿が描き出されます。少しノスタルジックな絵が印象的な、ひとり静かにかみしめたくなる絵本です。



14



15

14・15 ザ・キャビンカンパニー『ゆうやけにとけていく』（小学館）より 2023年

### 絵本づくりの裏側も お見せします！

大分県由布市にある廃校のアトリエの写真や、絵本が完成する前に描かれるラフや参考資料、画材などを紹介します。物語ができあがっていく経過を見ることができる貴重な機会です。彼らの絵本制作に寄せる思いも紹介します。

#### ザ・キャビンカンパニー



阿部健太朗（1989-）と吉岡紗希（1988-）による二人組の絵本作家、美術家。ともに大分県に生まれる。大分県由布市の廃校をアトリエにして、絵本・立体造形・アニメーションなどさまざまな作品を生み出し、国内外で発表している。『がっこうにまにあわない』で2023年日本絵本賞、『ゆうやけにとけていく』で2024年日本絵本賞大賞、小学館児童出版文化賞等受賞多数。

**出展作品数** 原画 38 点、絵本ダミー等の資料、映像 ほか

**図版について** 本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。※掲載紙／誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 田邊・山本・松本・小林

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24

TEL.0261-62-0773（業務用） FAX 0261-62-0774

E-mail: apublicity@chihiro.or.jp

# ちひろ美術館コレクション 「星の下の物語」

<同時開催>

トットちゃん広場10周年記念展「みんな、いっしょだよ。」

ようこそ！ザ・キャビンカンパニー 新収蔵作品展

—がっこうにまにあわない・ゆうやけにとけていく—

2026年6月12日(金)～9月6日(日)

安曇野ちひろ美術館 展示室3

主催：ちひろ美術館



16 西巻茅子(日本)『わたしのワンピース』(こぐま社)より 2002年



17 ユーリー・ノルシュテイン&フランチェスカ・ヤールブソワ(ロシア)『きりのなかのはりねずみ』(福音館書店)より 2000年



18 長新太(日本)『いたずらラッコとおなべのほし』(あかね書房)より 1973年

## 展覧会のみどころ

### 『わたしのワンピース』 西巻茅子(日本)

1969年の刊行から50年以上子どもたちに愛され続けてきた絵本。まわりの風景がワンピースの柄になっていくという斬新な発想のもと、ことばのリズムと単純化された線、淡い色彩が響き合い、少女の普遍的なあこがれが表現されています。物語後半に登場する星の場面を展示します。

### 『きりのなかのはりねずみ』 ユーリー・ノルシュテイン&フランチェスカ・ヤールブソワ(ロシア)

アニメーションのつくり手であるノルシュテインとヤールブソワ夫妻が、1975年制作の短編アニメーション『きりのなかのはりねずみ』をおよそ5年の歳月をかけて絵本化しました。はりねずみが、こぐまといっしょにお茶を飲みながら星を数えるために、こぐまの家に出かける物語です。うす暗がりの抒情的な世界に引き込まれます。

### 『いたずらラッコとおなべのほし』 長新太(日本)

北の海に浮かぶラッコの物語。いたずら好きのラッコの子どもロッコは、いつもおかあさんやおじいさんにいたずらをして叱られています。ある日、天の大男につかまってしまったロッコ！おなべでスープになる前に、どうやって逃げ出すのでしょうか？長新太は、奇想天外な物語をクレヨンで描き出しました。海に浮かぶラッコが眺める星空の描写をお楽しみください。

## 出展作品数

約25点



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 田邊・山本・松本・小林

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24

TEL.0261-62-0773(業務用) FAX 0261-62-0774

E-mail: apublicity@chihiro.or.jp

展覧会関連イベント

ザ・キャビンカンパニー アーティストトーク

日時：6月12日(金) 14:30～15:30  
 参加費：無料(入館料別) 申し込み：不要  
 ※アーティストトーク終了後にサイン会を開催予定です。

ザ・キャビンカンパニー 絵本づくりワークショップ  
 「わたしのかいじゅう」

日時：6月13日(土) 13:00～15:00  
 参加費：500円 定員30名  
 対象：小学生以上 ※小学生未満の場合は保護者同伴  
 会場：松川村・すずの音ホール  
 申し込み：要事前予約  
 安曇野ちひろ美術館(公式サイト/TEL.)  
 または、松川村図書館(TEL.0261-62-0450) にて  
 ※ワークショップ終了後にサイン会を開催予定です。



中学生ボランティアがこの夏も活動します

地元松川村立松川中学校のボランティアが夏休み期間中に、水彩技法ワークショップ、ザ・キャビンカンパニーの絵本の読み聞かせを行います。日程など詳細は、公式サイトをご覧ください。



ギャラリートーク

日時：6月20日(土)・7月18日(土)・8月22日(土)  
 14:00～ ちひろ展  
 14:30～ ザ・キャビンカンパニー展  
 参加費：無料(入館料別) 申し込み：不要  
 開催中の展覧会の見どころを学芸員がわかりやすく解説します。

絵本のじかん

日時：7月4日(土)・9月5日(土) 11:30～12:00  
 参加費：無料(入館料別) 定員：20名 申し込み：不要  
 季節や展示に合わせた絵本の読み聞かせを行います。どなたでもご参加いただけます。

ちいさなおはなしの会 at 絵本カフェ

日時：6月28日(日) 11:00～  
 参加費：無料(入館料別) 定員：20名 申し込み：不要  
 絵本カフェにて絵本の読み聞かせを楽しみましょう。

安曇野ちひろ公園のイベント

おでかけホリデー

日時：5月23日(土) 6月27日(土) 9月26日(土) 10月24日(土)  
 10:00～15:00  
 食体験、野菜の収穫、おさんぽ会やマルシェなどを開催します。

安曇野ちひろ公園リニューアル10周年  
 トットちゃんの夏祭り

日時：7月25日(土)  
 公園リニューアル・トットちゃん広場オープン10周年を記念して、特別な夏祭りを開催します。

※安曇野ちひろ公園：TEL.0261-85-8822  
 最新情報：chihiro-park.org

その他のイベント

ちひろ忌

日時：8月8日(土) 9:00～17:00  
 2026年8月8日、いわさきちひろ(1918～1974)がこの世を去って、52年目の夏を迎えます。当日は、ちひろが生涯願い続けた世界中の子どもたちのしあわせと平和への思いをご来館のみなさまと分かち合う一日にします。この日ご来館の方に、ちひろのことはカードを差し上げます。



いわさきちひろ  
 新聞紙で遊ぶあかちゃん 1967年

14:00～14:30

松本猛ギャラリートーク

参加費：無料(入館料別) 申し込み：不要  
 ちひろのひとり息子である松本猛(ちひろ美術館・常任顧問)が、展覧会の見どころや母・ちひろとの思い出を話します。

夜のミュージアム ～おばけナイト～

日時：8月22日(土) 9:00～20:00  
 この日は、開館時間を延長して20時まで開館します。夕暮れどきからライトアップされた幻想的な夜の美術館(設計:内藤廣)で、ゆったりとした時間をお楽しみください。「おばけに変身!ワークショップ」や「ちょっとこわいおはなしの会」を開催します。この日、ちょっとこわいおばけの格好、または浴衣でご来館の方には、絵本カフェのワンドリンクチケット、またはショップ10%OFFチケットをプレゼントします(カフェは19:00閉店)。

おばけに変身!ワークショップ

16:00～18:00の間、随時参加可能。  
 18:00～ おばけパレード  
 (おばけになってみんなで館内をパレードしよう!)

ちょっとこわいおはなしの会

17:00～ 怖さレベル1  
 19:00～ 怖さレベル2

展覧会基本情報

展覧会名	・トットちゃん広場10周年記念展 「みんな、いっしょだよ。」 ・ようこそ! ザ・キャビンカンパニー 新収蔵作品展 -がっこうにまにあわない・ゆうやけにとけていく- ・ちひろ美術館コレクション 星の下の物語
会期	2026年6月12日(金)～9月6日(日) ※会期は予告なく変更になる場合があります。 ○開館時間=10:00～17:00 ※7/18～8/31は9:00～17:00 ○休館日=第2・4水曜日(祝休日は開館、翌平日休館) ※8月は無休
入館料	大人1200円/18歳以下・高校生以下無料 団体(有料入館者15名以上)、65歳以上、学生の方、18歳以下の子どもに同伴する保護者(子ども1名につき2名まで)は900円/障がい者手帳ご提示の方とその介添えの方(1名)は無料/年間パスポート3000円
交通	○電車の場合=JR大糸線信濃松川駅より約2.5km (タクシー5分、レンタサイクル15分、徒歩30分) ○車の場合=長野自動車道安曇野I.C.より約30分

※上記のイベントおよび開館情報は予告なく変更になる可能性があります。最新情報につきましては、公式サイトをご覧ください。最新情報につきましては、公式サイトをご覧ください。最新情報につきましては、公式サイトをご覧ください。最新情報につきましては、公式サイトをご覧ください。